

鹿児島県漁海況週報

平成25年4月11日発行(4月4日～4月10日)
第2501報【旧暦:2月24日～3月1日/月齢23.3～29.3/潮汐:小潮～大潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
HP: http://kagoshima.suigi.jp/

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

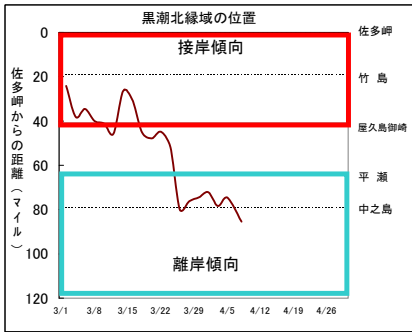
黒潮北縁域は、4月8日現在、中之島の南6.4マイル付近にあり、離岸している。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、4月9日現在、26マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、黒潮流域、中之島、笠利崎で0.1～0.2℃昇温し、その他の海域で0.2～1.4℃降温した。平年比較では、黒潮流域、中之島で“やや高め”、竹島、屋久島御崎、与論で“やや低め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	24.0	+0.2	+0.7	やや高め
鹿児島	17.4	-0.2	-0.2	平年並
佐多岬	18.8	-0.2	-0.1	平年並
竹島	19.7	-1.4	-0.7	やや低め
屋久島御崎	23.2	-0.2	-1.3	やや低め
中之島	23.2	+0.1	+0.5	やや高め
笠利崎	21.9	+0.1	+0.1	平年並
与路島	21.3	-0.5	-0.2	平年並
与論	21.2	-0.6	-0.5	やや低め
飯海峡	18.1	-0.2	-0.1	平年並

鹿児島ー那覇定期客船観測は4/8～10
串木野ー飯定期客船観測は4/9

【漁況】

○定置網

鹿児島海域では、メジナ(500～600g)が50尾/日、ハグツオ(2kg)が40kg/日の入網。西薩南部海域では、ブリ(4～5kg)が200尾/日、サワラ(1kg)が多い日で200kg、アカカマス(100g)が多い日で300kg、ヒラマサ(4～7kg)が1日のみ50尾、ハグツオ(1～2kg)が1日のみ200kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、チウオ(0.7～1kg)が1日のみ2トンの入網。大隅半島東部海域では、週計で43統がカタチイワシ、アカヤガラ、マヅ小主体に29トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でニハ類、エイ類、サワラ主体に10.4トンの入網。熊毛海域では、スマ(3～4kg)が多い日で100尾の入網。

○キビナゴ刺網

鹿児島海域では、3～6箱/隻・日の漁。西薩南部海域では1日のみ多い船で30箱/隻の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、1～5箱/隻・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記表に記載していません。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2448報)

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期		
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	0	—	—	—	3	26	11	509	
		中	7	26	飯東 縄瀬 飯西	ウメイワシ79	3.7	7	35	13	95
	枕崎	大	5	365	内之浦沖 馬毛島	ゴマサハ中小79	72.9	3	153	0	—
		中	19	790	内之浦沖 立見崎沖 馬毛島	ゴマサハ中76	41.6	19	615	31	1,096
	内之浦	中	1	11	内之浦沖	サハ類中100	11.0	0	—	0	—
	山川	中	0	—	—	—	—	0	—	0	—
計	大	5	365	—	—	72.9	6	179	11	509	
中	27	827	—	—	—	30.6	26	650	44	1,191	
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	13	17	阿久根沖 長島	ウメイワシ99	1.3	12	14	55	69	
	内之浦	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	43	29	—	カタチイワシ51	0.7	44	30	51	22	
刺網	阿久根	70	6	飯	キビナゴ100	0.1	52	3	74	4	
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	大	0	—	—	—	0	—	1	210	
		小	6	51	—	カツオ大49	8.5	3	44	0	—
	海旋	0	—	—	—	—	1	580	2	880	
	山川	中	9	128	—	カツオ小69	14.2	9	56	0	—
海旋	0	—	—	—	—	—	1	996	1	3	

○トビウオロープ曳網

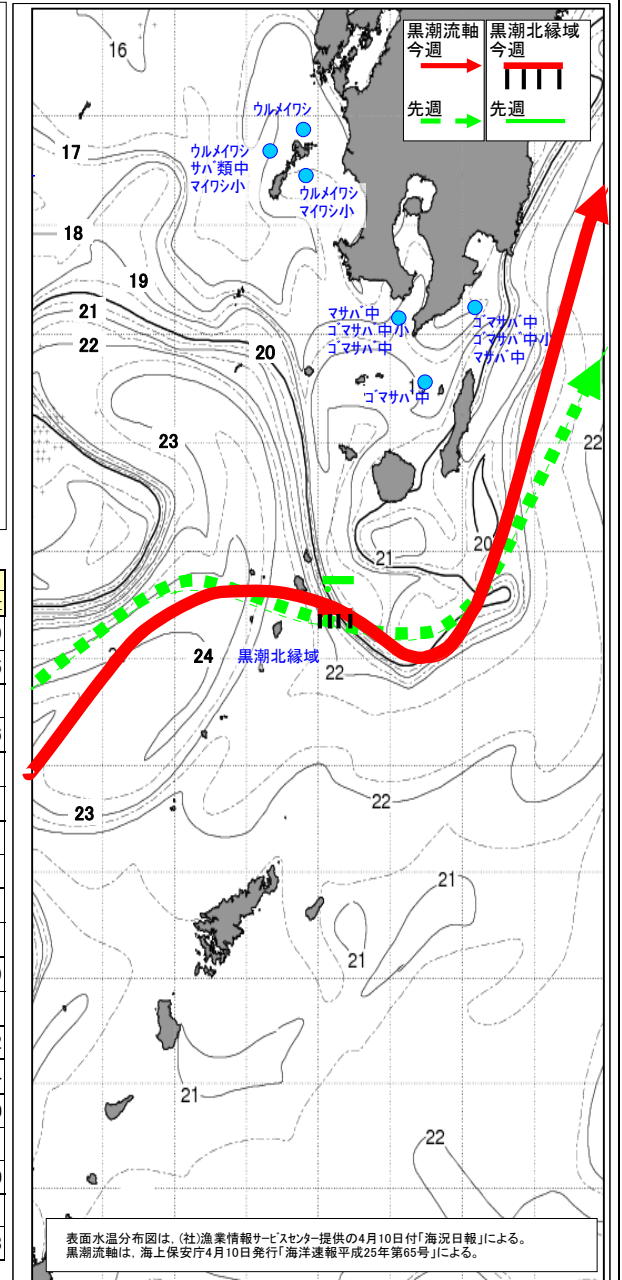
屋久島海域では、大トビを10～120箱/統・日、中トビを1～22箱/統・日、中中トビを1～5箱/統・日の漁。

○パッチ網

西薩海域では、週計でシラスを生で2トン/統の漁。志布志海域では、製品で5.5トンの入札があった。

○その他

西薩海域では、ごち網でマダイ(0.5～3kg)を15尾/隻・日、チダイ(200～500g)を10kg/隻・日、曳縄でサワラ(0.5～1kg)を12kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、ごち網でマダイ(1～3kg)を10尾/隻・日、刺網でキス(60～90g)を5kg/隻・日、曳縄でハグツオ(1～2kg)を多い船で100kg/日の漁。志布志湾海域では、刺網でアカカマス(300g)を200～300kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、一本釣りでチウオ(1～2kg)を20kg/隻・日、延縄の2日操業でマダイ(5kg)を80kg/隻、ムツ(1～1.5kg)を50～70kg/隻、キンマダイ(1～1.5kg)を40kg/隻、旗流しの日帰り操業でソデイカ(胴体のみ11～12kg)を5～20ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の4月10日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁4月10日発行「海洋通報平成25年65号」による。